

1月～2月の りた

時 開催時間 所 開催場所
 ¥ 参加費用 定 定員（選定方法）
 対 参加対象 申 参加方法
 持 持ち物 該当テーマ

なごみん 66-8251

1/23 なごみん防災講座

～大震災!家での避難生活に必要なアレコレ～と題し、自宅での避難生活に必要な知識や裏ワザを学びます。防災に限らず日常の生活にも役立つ情報満載です。

時 14:00～16:00 ¥ 無料
 所 北部地域交流センター・なごみん
 対 どなたでも（主婦・親子におすすめ）
 申 事前になごみん窓口・電話にて申込

1/31 まち育てスクール 「歴史と協働」

岩津まち歩き探検『家康公の先祖が岩津にいた!?』というタイトルで、講師に「おかざき塾歴史教室」主宰 市橋章男さんをお招きし、家康公の先祖松平信光にスポットをあてて岩津の歴史を学び、岩津城址の探検を行います。

時 10:00～12:00 ¥ 無料
 所 北部地域交流センター・なごみん
 対 どなたでも（小学生以上なら楽しめます）
 申 事前になごみん窓口・電話にて申込

よりなん 59-3600

2/7 まち育てスクール 「防災と協働」

鈴木益宏による講演および上地学区の各地域組織代表をパネリストに迎えたパネルディスカッションを行い、会場と一体となって地域防災について学びます。

時 14:00～16:30 ¥ 無料
 所 南部地域交流センター・よりなん第6活動室
 申 直接よりなんにお越しください。

2/19 上地学区老人 クラブ交流会

上地学区老人クラブ連合会の活動報告で老人クラブの活動を知るとともに、介護についての講演や健康クイズなどで健康について学びます。

時 13:00～15:30 ¥ 無料
 所 南部地域交流センター・よりなん第6活動室
 申 直接よりなんにお越しください。

むらさきかん 66-3066

1/16 絵手紙体験教室

絵手紙ふあひの会の皆さんの協力で行います。お雛様の絵手紙を描いて送ってみませんか？

時 13:00～16:00 ¥ 無料
 所 東部地域交流センター・むらさきかん
 定 先着15名
 持 ハサミ、筆ペン（あれば）
 申 事前になごみん窓口・電話にて申込

2/6 東部地域 活動報告交流会

地元の中学・高校・大学の生徒や学生が、取り組んでいる地域活動に関して発表し、互いの交流を図ります。

時 10:00～11:45
 ¥ 無料
 所 東部地域交流センター・むらさきかん
 申 直接むらさきかんにお越しください。

悠紀の里 57-5050

1/26 市民活動情報 ひろば活用講座

『おかざき市民活動情報ひろば』の編集などの基礎知識に関する60分程度の講座です。

時 10:00～12:00、15:30～17:30の間で60分
 ¥ 無料
 所 地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
 対 岡崎市市民活動団体に登録されている方
 持 団体登録のID/PW、掲載したい団体の写真データ
 申 事前に悠紀の里窓口・電話にて申込み

2/21 フレンドリー フェスタ in 悠紀

悠紀の里の1周年のイベント。活動団体のステージ発表や体験ブース、物品や飲食の販売など盛りだくさん!

時 10:00～15:30
 ¥ 無料（一部有料）
 所 地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
 申 直接悠紀の里にお越しください。

市民活動センター 23-3114

2/13 マatchingフェア in 第5回岡崎まち育て フェスタ

NPO、企業、学校、メディアが一堂に会する大交流会を開催。活動をお互いにPRし、協働したい団体を見つけるイベントです。ボランティア活動する団体を見つけたい方やNPO活動に興味がある方もぜひご参加ください。

時 14:00～17:00
 ¥ 無料
 所 西部地域交流センター・やはぎかん
 対 NPO、ボランティアに興味がある方
 申 直接やはぎかんにお越しください。

まちのミカタ

Litaracy

(りたらしい)

78

2016年1月

特集： まち育てスクール開講 ～想いが現実を 突き動かす～

まちづくりの担い手として「協働」実践者を育てるべく、「りた」は協働ノウハウが学べる「まち育てスクール」を開講しています。協働事例に学ぶ「協働の秘訣」を学んだ第1回に引き続き、第2回目では自分が叶えたい夢に必要な協働相手は誰なのかを考える、ワールドカフェ形式のおしゃべりサロンを実施しました。その名も「夢が叶うかもカフェ」。カフェの導入では、一人の想いから1万人の名物イベントを誕生させた「協働」先駆者「青空クリエイターズフェスタ@籠田公園」代表 天野めぐみさんに講演いただき、協働を実現する想いの力について語っていただきました。今号では講師のめぐみさん式「想いから協働を巻き起こすポイント」について解説します。



▲「夢が叶うかもカフェ」の様子。会場が参加者の想いの熱気で包まれた。夢を語る側は話しながら自分の考えが整理され、聞く側はその姿・内容に刺激を受け、双方にとって有意義なものとなった。共感身近な人に夢を語ることから始まることわかる。

まちのミカタ

Litaracy

2016.1 vol.78

発行・編集

特定非営利活動法人
岡崎まち育てセンター・りた

〒444-0072 岡崎市六供町字杉本78-1
 TEL(0564)23-2888/FAX(0564)23-2898
 http://www.okazaki-lita.com
 https://www.facebook.com/okazaki.lita

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra/岡崎市内の地域交流センター
 会員宛へ郵送等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所/岡崎市各市民センター/シビックセンター/
 FMおかざき/杉くんの駄菓子屋/angelshare/
 コミュニティ・ユース・バンクmomo/cafeくらがり/
 CAFE&TABIBOOKS隠れ家/長嘗館/松應寺

特集： まち育てスクール開講 ～想いが現実を突き動かす～



●第2回まち育てスクール「想いが現実を突き動かす」編 概要



▲今や岡崎の名物イベントともいえる「青空クリエイターズフェスタ@籠田公園」はたった一人の想いから始まった。

2015年5月10日(日)、晴天に見守られる中「青空クリエイターズフェスタ@籠田公園(以下「青空フェスタ」)」が開催されました。出店者101店、来場者は1万人にもなるこの盛大な手づくり作家のクラフト市は、実はたった一人の女性の、些細な衝動から始まりました。その女性とは、籠田公園の前でブティックを営む、天野めぐみさんです。まち育てスクール連続コース第2回目はこの「青空フェスタ」天野めぐみさんをお招きし、「想いが現実を突き動かす ～つながるエネルギーはシンプルな衝動から～」というテーマでお話いただきました。めぐみさんを駆り立てた想い、そして、その想いが1万人を巻き込むに至る経緯とそのポイントとは一体どのようなものだったのでしょうか。

●きっかけは籠田公園を「芝生化したい!」という強い思いから

めぐみさんを駆り立てたきっかけは「土ぼこりが舞い、水はけが悪い籠田公園を全天候型舗装地面にする」という計画を知ったことでした。めぐみさんが住む籠田商店街周辺では籠田公園が唯一の土の地面であり、それを死守したい!という衝動から行政に対して公園の芝生化を提案したのです。「管理費が高い」と一蹴されてしましますが、それでもめぐみさんは「ならば市民が管理します」と提案し、紆余曲折を経て岡崎市から承諾を得たのでした。

- 協働するまでのポイント
- Point 1 相手が行政であってもあきらめない。
 - Point 2 批判ではなく、提案を。
 - Point 3 SNSや口コミで、とにかく想いを発信。
 - Point 4 想いをビジュアルイメージにすると伝わる。



▲商店街のオアシス、籠田公園。しかし土の地面は土ぼこりが舞い、雨でぬかるむ。



▲2011年、念願の芝生化がスタート。市民の手で1/4 ずつ芝生をはる。

●想いが仲間とアイデアを引き寄せた

しかし、提案はしてみたものの、実際どのように人と資金を集めるのか。めぐみさんはその悩みをSNSで発信し、あるドールハウス作家とのつながりを得、クラフト市を開催し、出店料の一部を基金にする、という計画にたどり着きます。

●イメージがさらに仲間を引き寄せた

めぐみさんは自分が思い描く緑の公園やクラフト市を写真などを用い具体的なイメージとして発信し、地元やクラフト市のキーマンとなるメンバーへと共感を広げていきました。

●協働、そしてクラフト市・芝生化実現へ

そうしてめぐみさん含め、4人の実行委員会からイベントの企画がスタート。協働にあたってはリーダーを立てず、それぞれの特長や自主性を重んじつつ、コミュニケーションを密に、楽しむことを心掛けながら手探りで進め、2009年5月10日、ついに「青空フェスタ」を開催するに至ります。毎年母の日に開催し、3年目を迎え、市長にお礼と実績報告をした2011年、籠田公園の芝生化がついに始まり、毎年ボランティアに支えられながら、今年の夏全面芝生化が実現したのでした。さらなる公園の幸せ指数向上に向けて、めぐみさんの挑戦はこれからも続いていきます。

- 協働してからのポイント
- Point 1 楽しい!が基本。
 - Point 2 互いに自律し、人のせいにならない。
 - Point 3 リーダーを立てない。
 - Point 4 常に意識や情報を共有。
 - Point 5 行政であっても感謝を忘れない。

実践!

今すぐできる協働実践ワーク

- ①自分の「夢」をイメージにしてみよう。
- ②身近な人に、自分の「夢」を語ってみよう。

2015年11月～12月のりた

なごみん 11/27



なごみんカレッジ 「第2回手話講座」

愛知県立岡崎聾学校中等部の生徒が講師となり、手話の基礎から学びました。最初硬かった表情も次第に笑顔に変わり、最後はみんなで手話を交えて四季の歌を合唱して終わりました。

よりなん 12/12,19



よりなんクリスマス

民生委員とコラボするとともに岡崎女子大学の学生さんにも出演していただいた『よりなんクリスマス会』、市民活動団体を中心とした「よりなんサロン」出演の音楽団体とコラボした『クリスマスミニコンサート』など多様なクリスマスイベントを開催しました。

むらさきかん 11/7



むらさき麦食育講座

愛知学泉短大との共催で、小学校低学年および幼児向けに地元特産・むらさき麦を使ったクッキーづくりと食育の講座を開催しました。

むらさきかん 12/5



まち育てスクール 「福祉と協働」

これからの地域社会で課題となってくる「高齢者福祉」について、岡崎市内の松本町と島坂町の2つの取り組みを通じて考えました。

悠紀の里 12/13



まち育てスクール 「協働はこうして起こせ」

市民初、市民参画の公園デザインプロジェクトにみる協働事例から、協働の段取り術について、座学と実践演習を通じて学びました。

市民活動センター 11/14,15 市民活動、ボランティア情報の紹介



りぶらの一大イベント「りぶらまつり」にて、ボランティアや市民活動の情報提供を行いました。

市民活動センター 11/15 まち育てスクール 「夢が叶うかもカフェ」



自団体だけでは実現が難しい(協働が求められる)プロジェクトの実現方法について、お茶を飲みながらアイデアを出し合うおしゃべりサロンを実施。 ※表紙、特集参照

まち育て推進チーム 12/8



リノベーションまちづくりシンポジウム 2015@岡崎 vol.2

人口減少する社会の中で、どのようにやっていくのかという、これまでとは違う仕組みをつくる「発明」をテーマにしたシンポジウムを開催。

まちのミカタ事典

岡崎のまちづくり、市民活動に関連したワードを紹介

わ【ワールドカフェ】 (わーどかふえ)

ファニータ・ブラウン氏とデイビッド・アイザックス氏によって1995年に提唱された会議・討議の手法の1つ。1テーブルに少人数(4人程度)が座り、与えられたテーマについて集中した対話を行う。次にテーブルホストをテーブルに残し、それ以外は席を移動し、再び討議を行う、ということを繰り返すもの。本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる。「知識や知恵は、機能的な会議室ではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいている。